

花より団子・月より「おきゃく」

香我美駅発 仲秋の名月を愛でる旅

9月26日(水)市内の有志らがごめん・なはり線に乗って仲秋の名月を楽しもうと「お月見列車」を運行させました。

昨年に引き続き2回目の今年は約100人が参加。2両編成の列車を借り切り、ごちそうをたくさん持ち込んだ参加者は「おきゃく」ムードでワイワイと、みんな月見を楽しみました。あいにくの曇り空でしたが、目的地の奈半利駅では満月がぼっかり浮かび、乗客は約3時間の旅を満喫しました。



夜須川に散歩道をつくろう

夜須川河川一斉清掃

10月7日(日)夜須川の河川一斉清掃が行われました。環境の変化で山の力が弱くなり、濁水期も多く川底には草が生え、歩ける堤が少なくなっています。親しみのある川を取り戻し、川遊びや散歩ができるようにと地元と行政と一緒に始めてものです。

当日は、河川流域の地区をはじめ、流域外の地区からも約300人が参加。参加した住民らは、空き缶やゴミを拾ったり、家から持ってきた草刈り機などで堤防に生えた背丈ほどの草を刈るなどして、汗を流しました。



10万本のチューリップを！

花・人・土佐であい博「かがみ花フェスタ」準備



9月24日(月)香我美町岸本の国道55線沿いの空き地に、10万本のチューリップを植えるための会場づくりが行われました。これは「かがみ花フェスタ実行委員会」主催で、来年開催される「花・人・土佐であい博」の花のビューポイントとして花壇や遊び場をつくる事業に向けての準備です。会場予定地は大きな石がゴロゴロあり、この日参加した約30人のボランティアは「きれいな花が育つように！」と整備しました。11月には球根の植え付けを行う予定です。

目指せ！ホールインワン

第1回市長杯パークゴルフ大会



10月7日(日)野市ふれあい広場パークゴルフ場のオープン1周年を迎え、第1回香南市長杯パークゴルフ大会が行われました。大会では、秋晴れのもと55人の参加者が和やかな中にも熱い戦いを繰り広げました。ミスショットもなんのその、1打ごとに歓声をあげながら、健康的な一日を楽しみました。

栄えある第1回大会の総合優勝には、西村節雄さん(吉川町)が輝きました。また、女性・中学生の部優勝は、吉川峰子さん(野市町)でした。

空の日だけの空港探検

高知龍馬空港「空の日」イベント

9月8日(土)高知龍馬空港で9月20日の「空の日」を記念したイベントが開催されました。会場は香南市などの地場産品がたくさん集まった「うまいもの物産展」や空港内をまわる「空港トロッコ」などのアトラクションに、たくさんの来場者でにぎわいました。

ステージでは吉川小学校6年の北川拓末さんと南国市の小学生が一日空港長に任命され、管制塔などを見学。北川くんは「英語で通信するのがカッコよかった」と体験した感想を話してくれました。



替え歌カラオケで交通安全を啓発

高齢者交通安全替え歌カラオケ大会

9月22日(土)秋の交通安全運動期間中に香我美市民館で、交通安全協会香南支部ら主催の「香南市高齢者交通安全替え歌カラオケ大会」が開催されました。

「リンゴの歌」のメロディーで「赤い信号、必ず止まり〜」など、高齢者クラブや交通安全母の会など18チームが交通安全啓発のために知恵を絞って考えた歌詞を熱唱。満席の会場からは「無理な横断は危ないし、夜は反射タスキがいるねえ」と歌の歌詞に感心し、盛んな拍手と声援が送られました。



明るい森で森林体験や自然観察

三宝山里山整備 竹林・雑木の間伐



9月8日(土)三宝山頂上までの遊歩道周辺の竹や雑木の間伐が行われました。

これは緑の募金公募事業の一環で、当日は16人のボランティア参加者がきれいな森にしようとチェーンソーや、なたを使い、うっそうとした竹林を切り開きました。中には「将来林業の仕事をしたい!」という14歳と19歳の兄弟も。倒れてくる竹に注意しながら、切り倒すのは重労働でしたが、太陽の光が届く明るい竹林になり、参加者はみんなさわやかな表情でした。

ごちそう膳に舌鼓

高知の食文化を語る・味わう「食のこころ」



9月22日(土)県立歴史民俗資料館で夜須町手結の食文化を学んで味わおうと食事付きの講演会が行われました。この日は土佐の料理伝承人に認定された手結漁業協同組合女性部が腕をふるい、50人分の「手結のごちそう膳」を提供しました。

しいらの押し寿司や、すりみの天ぷらなど郷土の味たっぷりの昼食に、高知市やいの町から来た参加者は「こんなおいしいものが食べられるなんて、また来たい!」と喜び、作り方のコツなどを聞いていました。